

## 1. 人口の状況

## 人口及び世帯数

## 年齢3区分別人口の推移

年少人口は年々減少傾向、老年人口は増加傾向にある。平成18年には、年少人口割合は国・県を下回っている、生産年齢人口は国・県を上回っており、老年人口については、県とはほぼ同程度であるが国を大きく下回っている傾向がみられる。

年齢3区分別人口構成割合の推移（市・県：3月末現在、国：10月1日現在） 単位：%

	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
H14	13.6	72.7	13.7
H15	13.4	72.1	14.5
H16	13.2	71.6	15.2
H17	12.9	71.0	16.0
H18市	12.8	70.1	17.1
H18県	13.6	69.0	17.5
H18国	13.6	65.5	20.8

（出典：佐倉住民基本台帳人口、印旛健康福祉センター事業年報、国民衛生の動向）

## 世帯数、男女別人口の推移

平成18年3月の佐倉市の世帯数は、66,133世帯、人口は174,984人である。1世帯当たりの人員は、2.6人となっており、平成5年の3.1人から減少している。

世帯数・人口ともに、年々増加していたが、平成17年から減少している。

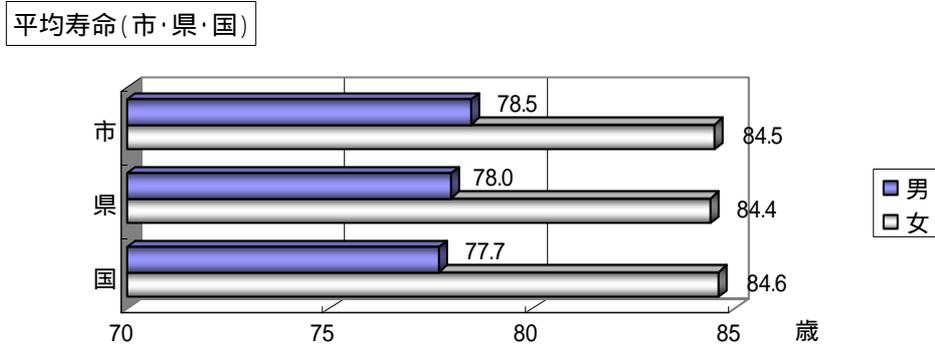
世帯数、男女別人口の推移（各年3月31日）

年次	世帯数	人口			対前年人口 増加数
		総数	男	女	
H5	49,684	155,328	77,137	78,191	4,106
H6	51,443	158,725	78,928	79,797	3,397
H7	53,374	162,604	80,895	81,709	3,879
H8	54,990	165,870	82,436	83,434	3,266
H9	56,495	168,849	83,903	84,946	2,979
H10	57,641	170,292	84,529	85,763	1,443
H11	59,244	172,181	85,414	86,767	1,889
H12	60,527	173,548	86,117	87,431	1,367
H13	61,338	174,078	86,420	87,658	530
H14	62,497	174,624	86,603	88,021	546
H15	63,456	175,033	86,787	88,246	409
H16	64,458	175,573	87,030	88,543	540
H17	65,153	175,118	86,669	88,449	-455
H18	66,133	174,984	86,494	88,490	-134

（出典：佐倉住民基本台帳人口）

平均寿命

佐倉市の平均寿命は、男性 78.5 歳、女性 84.5 歳であり、男性は国・県を上回っていて、女性は県を上回っている。



(出典：2007 年 国民衛生の動向)

出生及び死亡の状況

出生率、乳児死亡率、新生児死亡率、死産率、周産期死亡率、婚姻率、離婚率

市における出生率は、人口千対 7 人台で推移していたが、平成 17 年には、6 人代になっており、県・国を下回っている。また、死産率(自然・人工)は、平成 17 年には平成 15・16 年度よりも低くなっており、いずれも県を下回っている。

婚姻率は県・国をやや下回っている状況であるが、離婚率も同様に低い。

出生率、乳児死亡率、新生児死亡率、死産率(総数、自然、人工)、周産期死亡率、婚姻率、離婚率

	年次	出生率 (人口千対)	乳児 死亡率 (出生千対)	新生児 死亡率 (出生千対)	死産率		周産期 死亡率	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)
					自然	人工			
佐倉市	H15	7.5	5.4	3.8	16.1	14.6	6.9	5.1	1.8
	H16	7.6	1.5	0.8	16.2	16.2	3.0	4.8	2.0
	H17	6.8	5.1	5.1	13.3	12.5	11.0	5.0	1.8
千葉県	H17	8.5	2.9	1.5	14.8	13.7	5.0	5.9	2.10
全国	H17	8.4	2.8	1.4	12.3	16.8	4.8	5.7	2.08

(出典：平成 17 年度 印旛健康福祉センター事業年報)

## 死因別死亡割合

市・県・国ともに、死因の第1位から4位までは、「悪性新生物」「心疾患」「脳血管疾患」「肺炎」で同順位となっている。佐倉市におけるこれらの死因による死亡率は、「悪性新生物」「肺炎」で県・国を下回っているが、「心疾患」「脳血管疾患」では、県を上回っている。

平成17年 死因別死亡割合(市・県・国)

順位	市			県			国		
	死因	総数	率 (人口 10万 対)	死因	総数	率 (人口 10万 対)	死因	総数	率 (人口 10万 対)
1	悪性新生物	378	219.3	悪性新生物	13,516	226.1	悪性新生物	325,885	258.2
2	心疾患	216	125.3	心疾患	7,395	123.7	心疾患	173,026	137.1
3	脳血管疾患	156	90.5	脳血管疾患	5,370	89.8	脳血管疾患	132,799	105.2
4	肺炎	121	70.2	肺炎	4,268	71.4	肺炎	107,210	84.9
5	自殺	42	24.4	不慮の事故	1,547	25.9	不慮の事故	39,787	31.5
6	その他の呼吸器系の疾患	40	23.2	自殺	1,316	22.0	自殺	30,539	24.2
7	不慮の事故	38	22.0	老衰	1,133	18.9	老衰	26,336	20.9
8	腎不全	24	13.9	腎不全	734	12.3	腎不全	20,510	16.3
9	老衰	18	10.4	糖尿病	631	10.6	肝疾患	16,409	13.0
10	糖尿病	18	10.4	肝疾患	602	10.1	慢性閉塞性肺疾患	14,415	11.4

(出典：平成17年度 印旛健康福祉センター事業年報)

## 三大死因の年齢調整死亡率

佐倉市の年齢調整死亡率をみると、脳血管疾患については、男女ともに管内の年齢調整死亡率を上回っている。大腸がんについては、男女ともに管内を下回っているが、胃がん、心疾患の女性は、管内を上回っている。

女性のがんについては、乳がん、子宮がんともに管内を下回っている。

平成17年 脳血管疾患、がん、心疾患の年齢調整死亡率(市・管内)

	脳血管疾患			胃がん			肺がん			大腸がん			乳がん	子宮がん	心疾患		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	女	女	計	男	女
市	49.9	65.5	37.9	21.5	27.5	17.2	23.6	38.4	12.5	15.4	20.6	11.7	8.1	3.1	70.2	87.1	53.5
管内	47.3	62.7	36.0	20.5	30.5	12.9	23.9	37.8	13.1	17.4	22.1	13.4	10.2	3.3	68.6	88.1	51.9

(出典：印旛健康福祉センター資料)

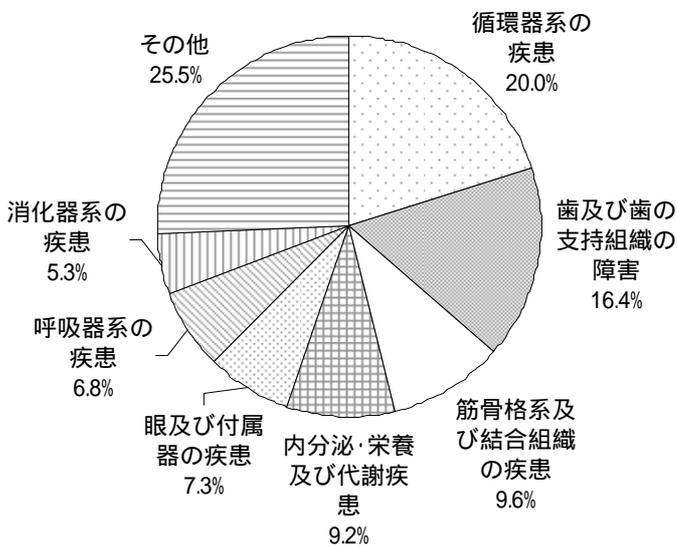
## 2. 市民の健康を取り巻く状況

### 国民健康保険加入者の疾病の状況

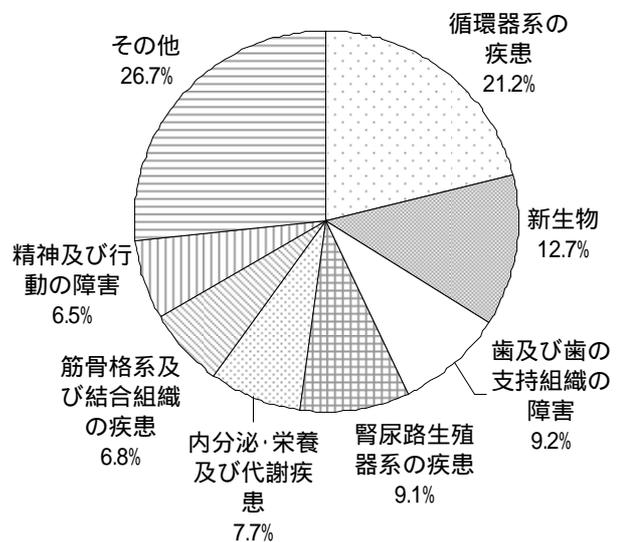
#### 国民健康保険加入者の疾病別件数・点数割合

件数をみると、最も多いのが「循環器系の疾患」であり、次いで「歯及び歯の支持組織の障害」、その他、「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌・栄養及び代謝疾患」「眼及び付属器の疾患」「呼吸器の疾患」等が、それぞれ10～7%を占めている。点数をみると、「循環器系の疾患」「歯及び歯の支持組織の障害」が件数同様の割合だが、第2位として、件数は少ないが1件あたりの点数が高い「新生物」が約1割みられる。

国保加入者の疾患の割合(件数)



国保加入者の疾患の割合(点数)



(出典：佐倉市健康保険課資料(平成18年度))

#### 老人医療費の推移

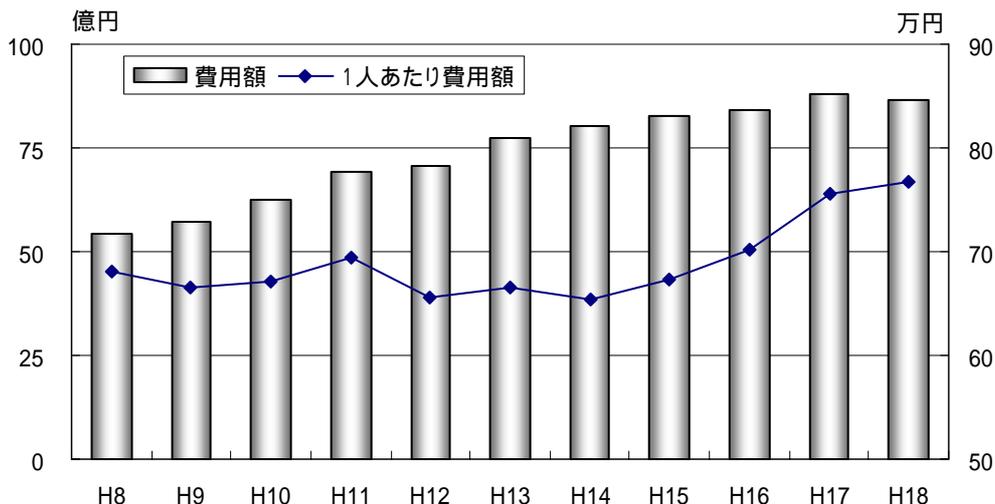
平成18年度の老人医療給付の状況を見ると、総費用額は86億円超であり、1件当たり費用額は26,719円、1人当たり費用額は767,074円となっている。

年次推移をみると、総費用額は年々増加傾向にあり、また、1人当たり費用額も年々増加している。

老人医療の給付の状況(3月～2月診療ベース)

年度	年間平均老健対象者数	件数	総費用額	1件当たり費用額	1人当たり費用額
H18	11,309	324,669	8,674,840,539	26,719	767,074

老人医療の給付の状況(各年3月～2月診療ベース)

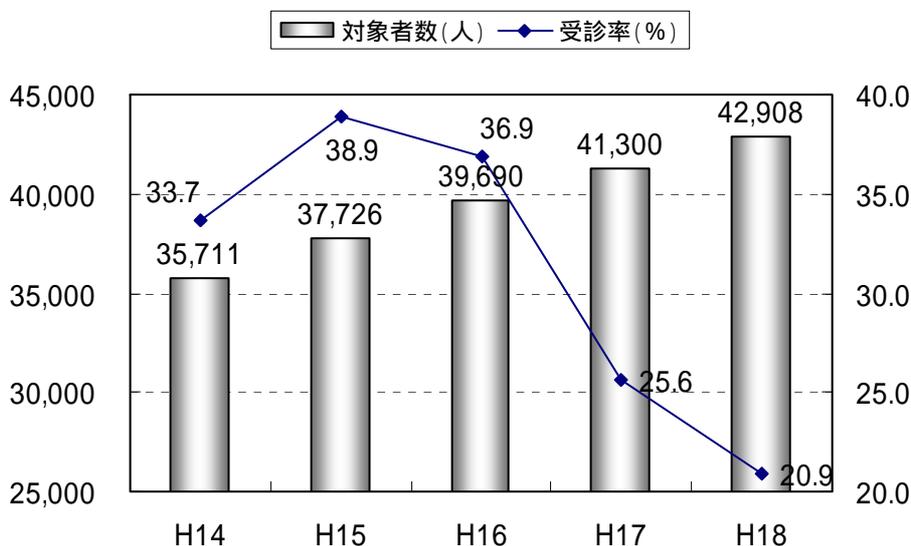


(出典：「佐倉市の国民健康保険」平成19年度版)

## 健(検)診の状況

### 基本健康診査の状況

市が実施する基本健康診査の対象者数は、男女ともに年々増加傾向にあり、平成17年度には、40,000人を超え、平成18年度は42,908人であった。受診率は、平成16年度には36.9%だったが、集団検診の有料化等に伴い減少傾向にある。



(出典：平成18年度 佐倉市保健事業のまとめ)

### がん検診の状況

がん検診も基本健康診査と同様、平成18年度から集団検診を有料化したため、受診率が減少した。子宮がん検診については、「がん検診指針」に基づき、対象年齢を30歳以上から20歳以上に引き下げ、受診間隔を2年に1回としたため、受診者数の大幅な減少がみられた。

第1章 基礎調査報告書

平成18年度 胃がん検診（一次検診結果）

	対象者	実施数	実施率	要精検者	精検実施数	がん発見数
集団検診	42,908人	4,923人	11.5%	182人	173人	0人
個別検診		3,622人	8.4%	246人	198人	7人
合計		8,545人	19.9%	428人	370人	7人
備考：平成17年度		9,642人	23.3%	(1,097人の減少 3.4ポイントの減少)		

平成18年度 子宮がん検診（一次検診結果）

	対象者	実施数	実施率	要精検者	精検実施数	がん発見数
集団検診	13,968人	1,330人	9.5%	13人	13人	1人
個別検診		1,476人	10.6%	15人	9人	0人
合計		2,806人	20.1%	28人	22人	1人
備考：平成17年度		6,575人	26.4%	(3,769人の減少 6.3ポイントの減少)		

平成18年度 乳がん検診（一次検診結果）

対象者	実施数		実施率	要精検者	精検実施数	がん発見数
25,733人	超音波個別一次	1,590人	12.8%	49人	41人	3人
	超音波集団一次	259人		17人	15人	1人
	マンモグラフィ-集団一次	1,438人		137人	127人	6人
	合計	3,287人		203人	183人	10人
備考：平成17年度		4,110人	16.5%	(823人の減少 3.7ポイントの減少)		

平成18年度 肺がん検診（一次検診結果）

	対象者	実施数	実施率	要精検者	精検実施数	がん発見数
集団検診	42,908人	7,671人	17.9%	143人	119人	2人
個別検診		2,839人	6.6%	50人	25人	1人
合計		10,510人	24.5%	193人	144人	3人
備考：平成17年度		12,146人	29.4%	(1,636人の減少 4.9ポイントの減少)		

平成18年度 大腸がん検診（一次検診結果）

	対象者	実施数	実施率	要精検者	精検実施数	がん発見数
集団検診	42,908人	5,252人	12.2%	275人	230人	12人
個別検診		3,410人	7.9%	234人	187人	13人
合計		8,662人	20.2%	509人	417人	25人
備考：平成17年度		9,462人	22.9%	(800人の減少 2.7ポイントの減少)		

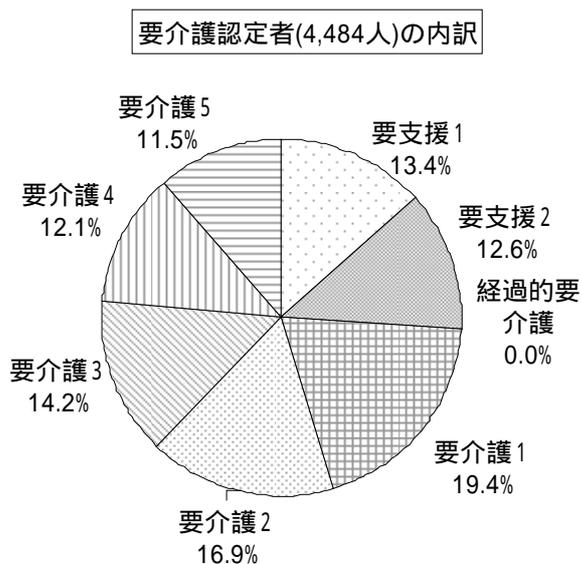
(出典：平成18年度 佐倉市保健事業のまとめ)

## 要介護者の状況

### 要介護認定者数

平成19年3月現在の要介護認定者数は、第1号被保険者・第2号被保険者を合わせて4,484人となっており、うちもっとも多いのが、「要介護1」(19.4%)で、「要支援」と合わせると全体の約半数を占める。

一方で、「要介護4」「要介護5」の割合は、合わせると全体の1/4を占める。



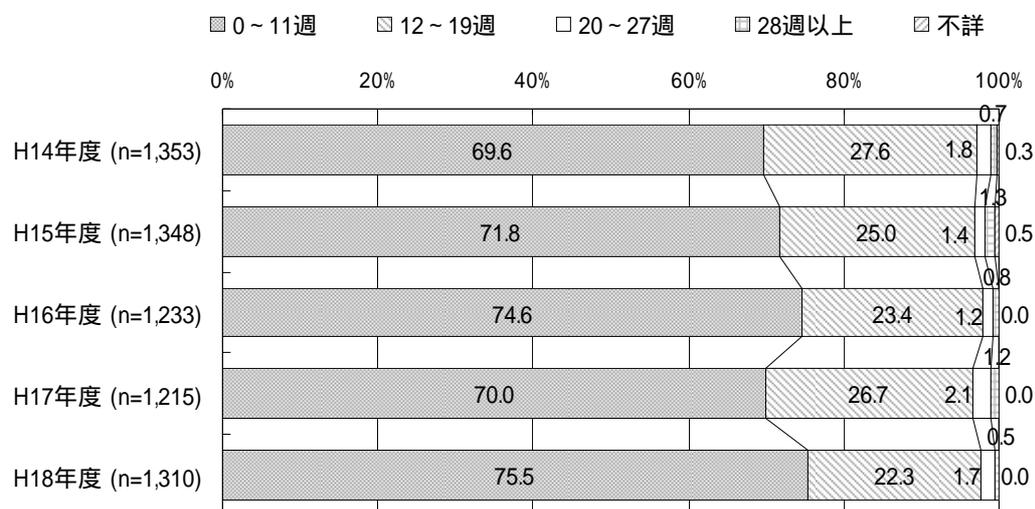
(出典：佐倉市介護保険課資料(平成19年3月現在))

## 妊娠・出産・育児の状況

### 妊娠届出状況

妊娠11週以内に届出をする割合は、年々増加し、平成15年度以降では70%台で推移している。

#### 妊娠届出状況



(出典：平成18年度 佐倉市保健事業のまとめ)

マタニティクラスの参加状況

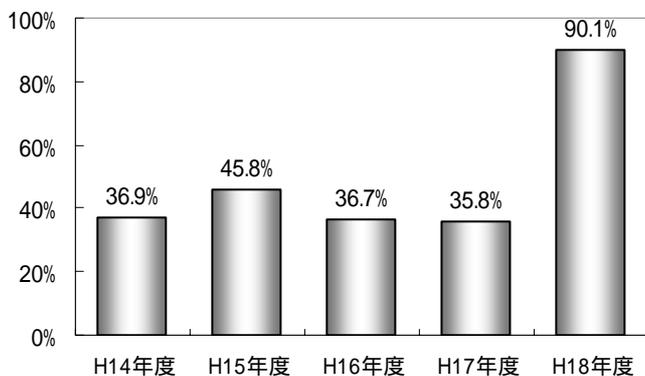
平成18年度マタニティクラスの受講率は27.2%であり、今後、よりいっそう多くの対象者に、参加を促していくことが課題となっている。

平成18年度からマタニティクラスの日曜開催を開始したので、夫の参加率は90.1%に上がった。

平成18年度マタニティクラス地区別参加状況

	佐倉	臼井	志津	根郷	和田	弥富	千代田	合計
対象数(人)	101	94	258	99	8	5	27	592
参加実人数(人)	36	20	70	27	1	1	6	161
参加延人数(人)	85	47	162	64	2	2	12	374
参加率(%)	35.6	21.3	27.1	27.3	12.5	20.0	22.2	27.2

平成18年度 夫のマタニティクラス参加状況



(出典：平成18年度 佐倉市保健事業のまとめ)

### 3. 市民の意識

#### 情報について

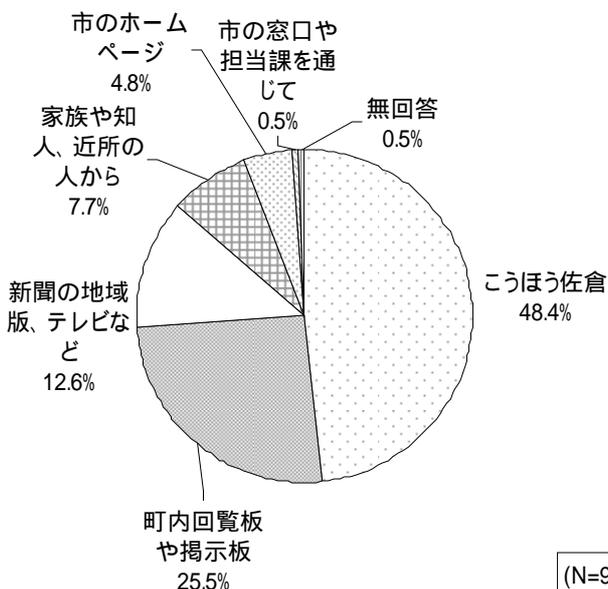
(以下出典：「平成18年度 佐倉市 市民意識調査」)

#### 利用している媒体と知りたい市の情報

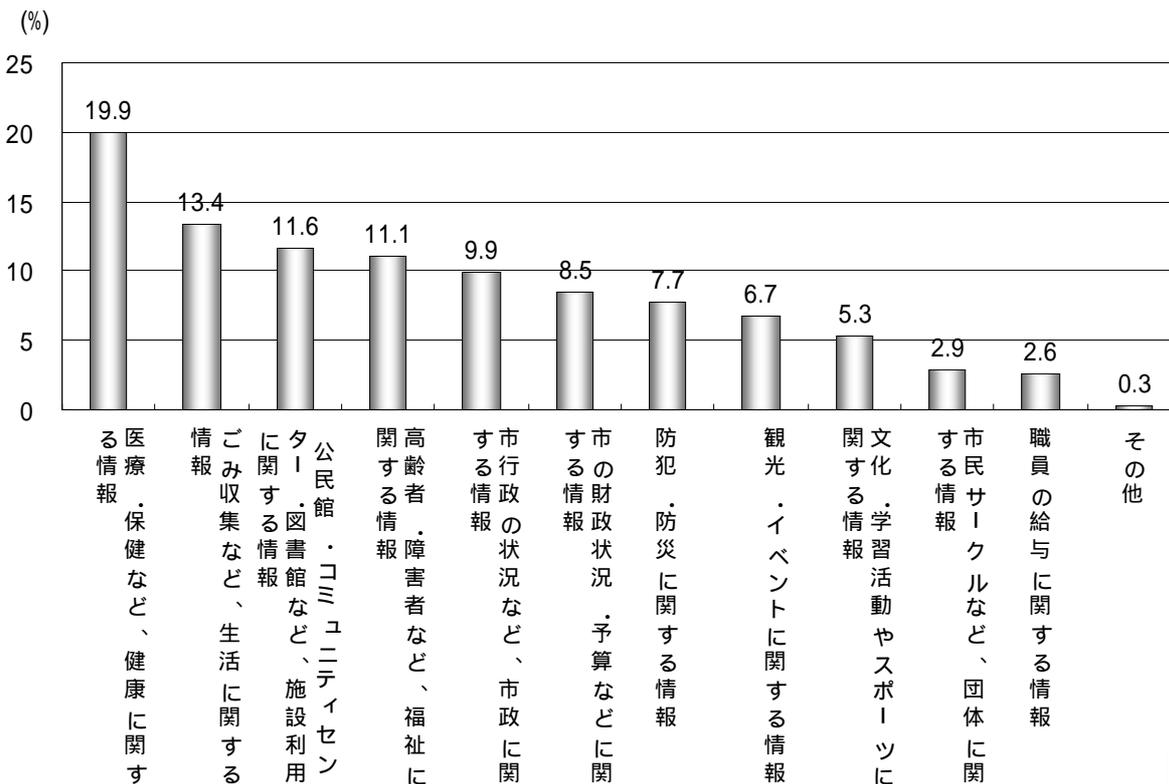
市行政に関する情報は、「こうほう佐倉」が48.4%と半数近くを占め、続いて「町内回覧板や掲示板」25.5%、「新聞の地域版、テレビなど」12.6%となっている。

知りたい市の情報としては、「医療・保健など、健康に関する情報」が19.9%となり、次に「ごみ収集など、生活に関する情報」が13.4%となっている。

利用している媒体



知りたい市の情報



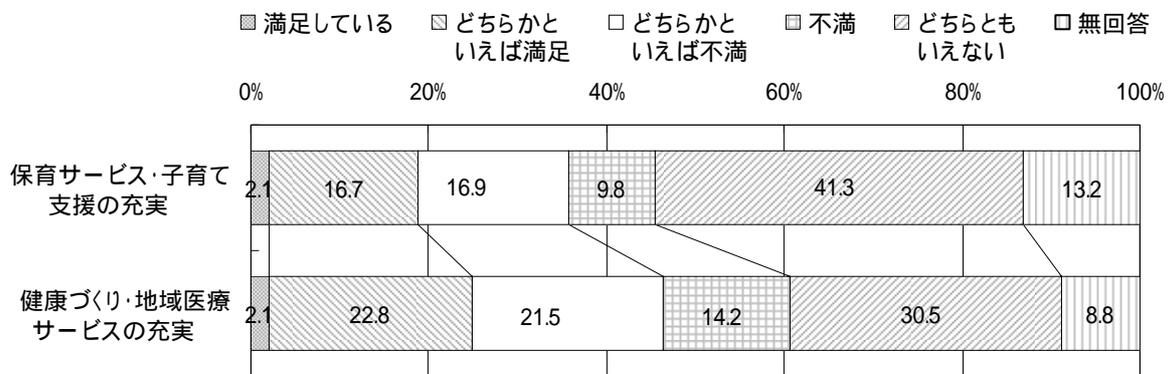
活動への参画

住みごこち（居住地域における満足度）

「健康さくら21」に密接に関わる2つの項目に関する市民の満足度をみると、「保育サービス・子育て支援の充実」については、「満足している」・「どちらかといえば満足」は18.8%となる一方で、「不満」・「どちらかといえば不満」が26.7%となっている。また、「どちらともいえない」が41.3%といちばん多い。

「健康づくり・地域医療サービスの充実」については、「満足している」・「どちらかといえば満足」は24.9%となる一方で、「不満」・「どちらかといえば不満」は35.7%となっている。また、「どちらともいえない」は30.5%となっている。

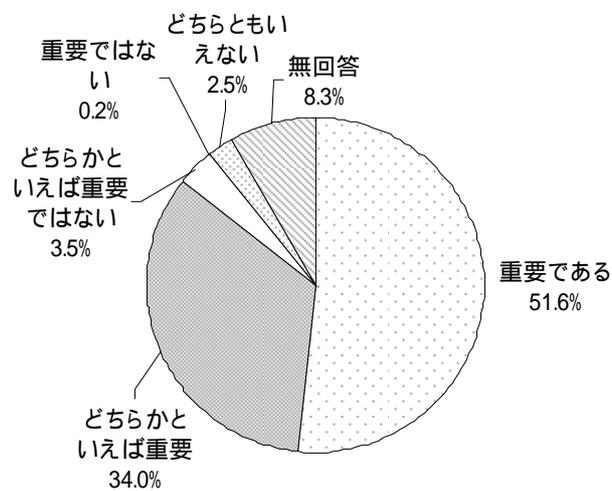
居住地域における満足度



(出典：平成18年度 佐倉市 市民意識調査(N=521))

高齢社会における市の事業の重要度（健康維持のための保健施策（各種検診など）の拡充）

健康維持のための保健施策（各種検診など）の拡充は「重要である」が51.6%と半数以上を占め、「どちらかといえば重要」34.0%を加えれば、全体の8割以上となっている。



(N=521)